

令和3年度 学校図書館基本計画(案)

足立区立東伊興小学校 校長 宇都宮 晴美

1 学校教育目標

考えの深い 心の豊かな 実行力のある子

2 学校図書館の目標・ねらい 一身に付けさせたい資質・能力、意欲・態度一

- ①様々な取り組みを通して本の楽しさに触れさせ、児童の読書に対する意欲を高める。
- ②日常的に本に親しみ、豊かな心情と幅広い知識を身に付けさせる。
- ③多様な資料から目的に応じた情報を選択・活用して、課題解決する能力を養う。

3 学校図書館の現状（昨年度末）

蔵書状況	① 蔵書数 11,976冊（蔵書基準冊数10,360冊）／ 蔵書率 115%									
	② 新規購入図書 375冊 / 廃棄図書 369冊 / 増減冊数 6冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	2%	1%	6%	6%	11%	5%	3%	8%	4%	55%
*国基準	6%	2%	18%	9%	15%	6%	5%	9%	4%	26%
利活用の状況	① 開館時間： 授業時									
	② 児童一人あたりの年間貸出冊数 71冊（前々年度：35.8冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 98%									

4 目標達成に向けた今年度の重点指導事項・具体的取り組み

第1学年	①学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。 ②児童一人一人が自分に合った本を選び、楽しんで読書しようとする態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①学校図書館の利用の仕方について知る。 ②学校図書館を利用する授業により、図書館のきまりを定着させる。 ③学校図書館を利用して児童一人一人が自分に合った本を選び、進んで読書に親しむ。	①学校図書館オリエンテーションの全学級実施 ②各学級が月に3回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ③一人当たり、平均して月6冊以上の本を読む。
第2学年	①学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。 ②易しい読み物や図鑑、昔話などに興味をもち、楽しんで読書しようとする態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①学校図書館を利用する授業により、図書館のきまりを定着させる。 ②学校図書館の本を利用して児童一人一人が興味のある本を選び、進んで読書に親しむ。 ③担任や読み聞かせボランティアによる読み聞かせを聞き、感想を伝えることができる。	①各学級が月に3回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ②一人当たり、平均して月6冊以上の本を読む。 ③担任や図書ボランティアによる読み聞かせを、月に3回以上行う。
第3学年	①きまりを守って進んで学校図書館を利用し、資料や情報を集めることができるようにする。 ②様々な種類の本に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
①学校図書館のきまりを守りながら、読書をすることができる。 ②学校図書館の様々な種類の本を進んで読み、様々な分野に興味を広げる。 ③図鑑や辞典などの使い方を知り、必要な情報を集めることができる。	①各学級が月に3回以上、読書や調べ学習等の授業を学校図書館で行う。 ②一人当たり、平均して月5冊以上の本を読む。また、1年間のうちに、各分類の本を1冊以上読む。 ③全学級が、学校図書館の本を利用した調べ学習を行う。

第4学年	①きまりを守って進んで学校図書館を利用し、資料や情報を集めて活用することができるようにする。 ②様々な種類の本に興味をもち、幅広く読書しようとする態度を育てる。	
今年度の成果目標		達成基準
①学校図書館のきまりを守りながら、読書をすることができる。 ②学校図書館の様々な種類の本を進んで読み、様々な分野に興味を広げる。 ③図鑑や辞典などの使い方を知り、必要な情報を集めてまとめることができる。		①各学級が月に3回以上、読書や調べ学習等の授業を学校図書館で行う。 ②児童一人一人が、平均して月5冊以上の本を読む。また、1年間のうちに、各分類の本を1冊以上読む。 ③「調べる学習コンクール」に学年の60%以上の児童が参加する。
第5学年	①きまりを守って進んで学校図書館を利用し、目的に応じた読み物を読むことで、自分の考えを深めたり広げたりしようとする態度を育てる。 ②様々な読み物を利用して情報を集めたり比較したりして、適切に活用することができるようにする。	
今年度の成果目標		達成基準
①十進分類法や本の配置等についての知識を生かしながら、きまりを守って学校図書館を活用することができる。 ②目的に応じて適切に読み物を選び、読書に親しんだり知識や情報を豊かにしたりすることができる。 ③興味のある事柄について、複数の本や新聞等を利用して必要な情報を収集したり比較したりしながら説明し、自分の考えをもつことができる。		①各学級が月に2回以上、読書や調べ学習等の授業を学校図書館で行う。 ②児童一人一人が、平均して月4冊以上の本を読む。 ③「調べる学習コンクール」に学年の70%以上の児童が参加する。
第6学年	①きまりを守って進んで学校図書館を利用し、目的に応じた読み物を読むことで、自分の考えを深めたり広げたりしようとする態度を育てる。 ②様々な読み物を利用して情報を集めたり比較したりして、適切に活用することができるようにする。	
今年度の成果目標		達成基準
①十進分類法や本の配置等についての知識を生かしながら、きまりを守って学校図書館を活用することができる。 ②目的に応じて適切に読み物を選び、読書に親しんだり知識や情報を豊かにしたりすることができる。 ③興味のある事柄について、複数の本や新聞等を利用して必要な情報を収集したり比較したりしながら説明し、自分の考えをもつことができる。		①各学級が月に2回以上、読書や調べ学習等の授業を学校図書館で行う。 ②児童一人一人が、平均して月4冊以上の本を読む。 ③「調べる学習コンクール」に学年の70%以上の児童が参加する。また、月に1回、全児童が興味のある新聞記事について要約し、自分の考えをまとめて友達に伝える。

5 学校図書館環境整備に関する取り組み計画・方針

【蔵書・配架等に関すること】

- ①既存の寄贈本や新規購入図書を受け入れ、登録作業を、8月までに完了させる。
- ②教員や図書ボランティアと連携し、「今月のおすすめ本」の展示を月に毎月更新する。
- ③廃棄図書を早期に確定させ、蔵書構成を念頭において新規図書購入計画を立てる。

【学校図書館支援員との連携・協働】

- ①学校図書館オリエンテーションの実施や読み聞かせ等、支援員との積極的な連携・協働に取り組む。
- ②調べ学習や並行読書などに必要な本や資料についての相談や情報交換などを積極的に行う。
- ③学校図書館支援員や図書ボランティアとの連携を深め、明るく温かな雰囲気のある学校図書館をつくる。

【その他】

- ①読書旬間の取り組みを活発にし、休み時間に行われる保護者による読み聞かせへの参加児童数を増やす。